



県内主要産業の動向

2019年4・5月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	19年3月	19年4月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は依然として低調。レストラン等の業務用が伸び悩み。個人向けも消費者の節約志向が強い中で動きが鈍い。また、外注先の職人不足が深刻であり、金属研磨の機械導入や技能者育成等で内製化を図る先もみられる。一方で、それに伴うコスト増が収益圧迫の懸念材料との声も聞かれる。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は依然として低調。一部ホテル向けの厨房機器や客室用備品などに受注があるものの、家庭用向け調理器具や飲食店の動きは鈍い。外注工賃や原材料費が上昇する中で、コスト増を販売価格に転嫁する動きもみられるが、一部にとどまっている。
作業工具	◐	◐	→	国内販売は、春先の需要期で生産、販売ともに堅調。しかし建築需要が弱含みの中、建築関連工具類にはやや低調な動きがみられる。輸出は、東南アジア向けを中心に堅調を維持。鋼材価格の高止まり等コスト上昇が続き、製品価格改定や社内体制の見直しにより効率化を図る業者も。
電子部品 ・デバイス	◐	◐	→	受注は弱含み基調。半導体製造装置向けは、中国を中心とした海外需要が引き続き落ち込んでいる。携帯端末向けは、スマホの販売不振により低調に推移。車載向けは、用途により明暗が分かれる。米中摩擦の長期化懸念から、業績の見通しを慎重にみる向きが多い。
鋳物	○	◐	→	受注は弱含み。半導体、工作機械、自動車を中心に勢いを欠く状況が続く。建設関連は国内需要が一巡し、足踏み状態。一方、これまで鈍かった船舶に明るい兆しがみられた。足下では、受注が伸び悩む中、運送費や鋳型保管費上昇分の価格交渉が難しく収益確保が厳しい状況に。
金型	○	○	→	受注は横ばい。自動車関連は米中摩擦の煽りを受け、車載器、車体部門とも伸び悩み。これまで好調の建築金物は、需要が一巡し、落ち着きがみられる。県央地区では早くも暖房機器の受注期入り。足下では、底堅い国内需要から先行きの明るさに期待する声が聞かれた。
一般機械	○	○	→	外需は、米国向けが航空機・宇宙関連に続き自動車も動きが出てきた。中国も、底堅い状況が続き米中摩擦の直接的影響は出ていない。内需は、投資判断の先送りも聞かれるが、省人・効率化投資に拡がりも見られ、強弱混在の状況。足下では、産業用ロボット受注の下方修正もあり慎重な見方も。



業種	景況			コメント
	19年3月	19年4月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地の4月の生産高は前年並みを確保。全国の卸商社・小売店向けに開催したイベント「きものフェスタ」等が盛況で、先染め織物の売れ行きが堅調だった模様。五泉産地の白生地生産高もほぼ前年水準。ただし、後継者不足や職人の高齢化等から先行きには不透明感が強まっている。
合織織物	●	●	→	秋物生産期。暖冬の影響が尾を引き、受注は低調に推移。原油高による原材料価格や輸送コストの上昇が収益を圧迫しており、当面は厳しい状況が続く。そうした中、栃尾産地は恒例の首都圏での展示会で技術力や品質の高さをPRし、新たな顧客開拓に意欲をみせた。
ニット	●	●	→	夏物生産最終期。店頭のコットンセーターの売れ行きが鈍く、追加受注もまばらだった。足下では、秋物の受注・生産期に入ったが、アパレル側の発注抑制姿勢が強く、受注は総じて低調。収益面では、原材料のウール・カシミアの高騰が続く中、価格転嫁が難しくメーカーからはコスト吸収に苦慮する声も。
木工家具	●	●	→	業務用では、春先の商戦向け受注が一部でみられたものの、多くは散発的な小口受注にとどまる。足下でも動きのある製品は棚類など限定的。家庭用でも、売上確保に依然苦慮。組合は恒例の販促イベント見直しを検討中。商工団体も地元ブランド製品の販売委託先変更により製品PRを図る。
清酒	●	●	→	4月の出荷量は、大型連休前の出荷前倒しの影響もあり、県内・県外向けとも前年を上回った。酒類別では、吟醸酒、純米酒・本醸造酒が好調。一方、普通酒は伸び悩んだ。足下の出荷は、連休後の反動減により低調との声が多い。各酒蔵とも夏向けの季節商品の開発に取り組む。
米菓	◐	◐	→	4月の売上は、前年並みを確保。春の行楽シーズンに入り、詰め合わせや季節限定商品が堅調だった。足下では、大型連休を過ぎて需要が一服。各メーカーとも、売上げの落ち込む夏場に向け、洋風の味付けや季節感のあるパッケージなどで需要の底上げに努めている。
建設	◐	◐	→	公共工事は、補正予算の執行を受けて持ち直し基調。発注者別では、市町村で小中学校のエアコン設置工事が伸びている。民間工事は、製造業を中心に底堅く推移。足下で医療・福祉などにも動きがみられる。住宅建設は、持家の着工に動きがあるが、総じて力強さに欠ける。
大型小売店	◐	◐	→	4月の売上はほぼ前年並み。月後半は気温が低かったが天候は安定しており、客足は前年を上回った。婦人雑貨と高級ブランドは変わらず好調だが、一般の春物衣料は鈍い。食品全体は引き続きプラスで推移し売上に寄与。足下では、5月下旬の季節外れの暑さが業態によっては悪材料に。